



**神和台百号を  
お送りします**

創刊号は、昭和五十七年七月二十日に発行され、この年度は、B4判で毎月発行されています。現在自治会から毎月出されている「自治会からのお知らせ」を兼ねており、記事内容も、サークル紹介、盆踊り、落し物の知らせなど生活に密着した記事が掲載されています。

平成二十年には三十周年記

念として八十八号が発行されています。この号によれば、神和台は一九七八年（昭和五十三年）三月に三丁目と二丁目が入居が始まっています。以来周りを取り囲む住環境も、また当団地の年齢構成も大きく変化してまいりました。

今期の広報部は経験もなく戸惑い、周りの皆様に相談しながらのスタートでした。

さまざまなところからご協力が得られ、今日の日を迎えることができました。百号は、できるだけ、多くの住民の方々に原稿執筆をお願いしました。改めて、私たちの団地には多才な方がおられることに気づかされました。快く原稿をお寄せ頂きお礼を申し上げます。

本紙が団地の皆様の交流のきっかけになればと祈っています。今後とも、「しんわだい」が続くことを願っています。

なお、五十号以後は、「神和台ネット」にPDF形式でアップされていますので、インターネット接続で読むことができます。

（広報部一同）



# 100号を迎えました

## 神和台に来て 三十年

長男が、小学校四年の三期に引越して参りました。自然が一杯で、以前の所と違って学校が遠くなり、よく歩く様になってからは大変元気になりました。

通学路には田んぼがあり、田植への準備が始まると、悪戯をしない様に保護者が立って見張った事を懐かしく思い出されます。今まで出来なかった動物



を飼う事が出来て、夜店で買って来たひよこをつがいにして成長させて、卵を生んでくれた事でした。

触ってみると温かくて、卵白が盛り上がっていて、都会育ちの私は感動でした。毎日収穫するのが楽しみです、子供のお弁当の卵焼きに変身させました。

色々思い返すと、PTA時代が一番楽しかった様に思われます。子供達に、たくさん感動を貰って、私は感謝しています。

それと、まだ自然が残っている神和台に...

（一丁目 高橋 典子）

# 第12回神和台文化祭 成功裏に終わる

昨年の十一月二十二日に作品展、二十三日の午前に講演会、午後から発表会が開催されました。また期間中、厚生部による喫茶コーナーが設けられ、多くの団地の方々の交流の場としてにぎわいました。

**作品展**  
何時からか高齢化が囁かれ



るようになり、ここ数年出品数が減少気味、今年開催出来るかなと危ぶむ思いでしたが、参加の申込が届き始めるとその思いも解消しました。

また、中学生の作品展示の提案を頂き、神和台から三校の中学に通っている二十八名の生徒さんの力作四十三点の展示と、出品頂いた三十三名の方による力作六十五点の展示が多くの人の手で進むにつれ会場らしくなってきました。今回も素晴らしい作品展を開催出来たことに清々しい達成感を感じております。

出展された方、展示を手伝って頂いた多くの方、ありがとうございました。(藤川多賀子)

## 講演会

講師は宮川一郎氏(神戸市建設局総務部庶務課調査防災係長)にお願いしました。

担当者の立場から、神戸で過去に起こった自然災害を事例に神和台地域の实情に沿った可能性のある自然災害と対策などについても幅広くお話し頂きました。

最近、大きな自然災害がいろいろな所で起こっていますのでテーマとしては非常に良かったと思いますし、約四十名の参加者で質問も積極的で非常に好評に終わったと思っています。講師のご厚意で当日のパワ



ーポイントが参考になればと残していかれました。「神和台ネット」で見ることができません。(堀尾 正幸)



## 発表会

学生の歌声から始まって祖母世代にコーラスのリレー。大正琴演奏、詩吟、コーラス、詩舞と続いて、圧巻は太山寺中学の先生二人による独唱・合唱。会場にアンコールの声が渦巻く。

手品を楽しんだ後、ラストはご夫婦によるクラリネット・サクソスの素晴らしい音色が響き渡った。出足は寂しかったが、次第に会場が埋まり盛況となった。しかし、高齢化の波も押し寄せており、出演者が減りつつある。長く続けるため、皆さ

んの協力を仰ぎたい。(橋本征之)

## 喫茶コーナー

お天気に恵まれ文化祭期間の両日集会所の談話室で喫茶コーナーを開設しました。自宅の花壇でできた心づくしの花を用意し、仕舞いこんでいたやや派手なエプロン姿も凛々しいレディースの面々とマスター役の男性部員で無事おもてなしの場を作ることが出来ました。

作品鑑賞や発表会の合間のホッとしたりひと時を楽しんでもらいました。今年はお代わり自由を表示して珈琲、日本茶、ジュースを存分に味わって頂き好評を頂いたものと思っております。(厚生部)



# 神和台ネットの紹介

## 設立経緯

平成十二年に自治会から緊急通報システム普及活動を行うボランティア活動の呼び掛けがあり、私を含む四名が参加しました。

当時、神戸市が推進する「ケアライン一九」の緊急通報システムがあり、一人住まいの高齢者を対象に募集から始めましたが、ケアライン一九は高齢者がペンダントを首にぶら下げ緊急時にボタンを押し通報するシステムで利用基準が厳しく、思うような普及はできませんでした。

そこで、阪神淡路大震災時にインターネット環境を整備、ホームページの制作、会員向けメールマガジンサービス、パソコン教室などを行うため、兵庫県補助金「町の再発見事業助成金」を検討。申請には地域イベントをからめて行う必要があり、住民が交流する文化祭の開催とITによる高齢者見守り・パソコン教室・ホームページ制作などの内容で申請し、以後これらがベースとなって現在に至っています。

## ホームページの説明

- ① 自治会情報  
自治会組織、役員一覧、自治会からのお知らせ、集会所利用予定表、防犯情報、ごみの出し方・ごみの日
- ② クラブ便り  
神和台のクラブ活動の紹介
- ③ 情報ファイル  
電車・バスの時刻表、神和台周辺の地図、神和台へのアクセス、神和台近郊の名所旧跡、その他関係先リンク
- ④ ネット実行委員会  
世話人一覧、規約、委員会議事録、ネットサロンの紹介
- ⑤ 掲示板  
趣味の掲示板、もろもろ掲示板

⑥ 世話人による定期的な推進委員会の実施(隔月)

## これまでの主な活動内容

- ① ネット会員の募集
- ② 会員へのニュースレター及び防犯情報のメール配信
- ③ ホームページの制作と更新
- ④ ネットサロン(パソコン教室)の開催(毎月第一日曜日)
- ⑤ 自治会イベントの支援  
総会、夏祭り、文化祭

## 今後の活動と課題

神和台ネット発足から十三年になり、今年には神戸市社会福祉協議会より地域奉仕活動としての感謝状を頂きました。しかし、世話人の高齢化により、亡くなる人、体力的に無理な人が増え当初のメンバーは半減、新しい世話人はな

なが増えず、積極的な活動が困難になっています。

神和台ネットは、当初ボランティア活動として立ち上げましたが、自治会を支援する活動はしているものの、パソコンの好きな趣味の会と違っていても多く、自治会が認める組織にはなっていません。

近隣のつじヶ丘・学園都市自治会では、自治会が主体となってホームページによる情報発信などを行っています。従って、今後は自治会が認知する下部組織として活動し、自治会がボランティアの呼び掛けを行いネット活動が続けられることを願っております。

(神和台ネット世話人代表  
堀尾 正幸)

グーグルあるいはヤフーの検索で「神和台ネット」と打ち込むと、当ページが見つかります。神和台自治会の部屋に入るにはID、パスワード欄とともに「net」と半角で入れてください。



### 有悠クラブの紹介

昭和五十五年に結成された神和台老人クラブ（現神和台有悠クラブ）は、発足時から多少の増減を見ながら、約六十余名の会員で推移して来ています。此の度『全国老人クラブ連合会』に於いて、平成二十六年から、三十年までの五ヶ年計画で百万人の会員増強活動方針が示されました。これに伴い、当クラブとしても積極的に増員促進に取り組む事と致しました。ちなみに、神和台の現状を調べると、六十五才以上の人口は、約七百四十名で、神和台の人口の三十九%余りになります。次に垂水区全体を見ますと、二十九%ですから、神和台は高齢化が急速に進んでいると云えます。今まで、会社のため、家族・子供のために人生を送られて来られましたが、これを機に健康維持と自分のため、地域のために楽しく遊びませんか？

次に月例行事とサークル活動の内容を紹介します。

#### ◎月例行事

**誕生会の催し**  
我が有悠クラブでは、毎月第二水曜日集会所二階で明るく楽しく誕生会を開催しています。



誕生者を囲んでお菓子を食べながら、お酒やビールも飲みながら日常茶飯事のおしゃべりを交わしています。時とともに、ほろ酔い加減になると得意の喉を披露するカラオケやら隠し芸の小品や相撲甚句も飛び出します。その他ビンゴゲーム、輪投げ等で歳も忘れてはしゃぎあいます。時の過ぎるのも忘れてアツという間の二時間の誕生会は終わり、皆は家路につきます。



また、一月には新年会、四月にはお花見会を兼ねた誕生会で特別にお昼の会食で楽しめます。

#### グラントゴルフ

普段は子供たちの明るい声で包まれる北公園に、「お早う」の声と共に、月・水曜日の朝は、グラントゴルフの仲間が集います。

その後、健康と親睦をかねて、愛好者が、日ごとに増え続け、今では、大会も盛んに行われています。サークルの会員二十五名程で、四〜五人が一チームに分れて数チームで毎回来しんでおります。一から八ホールの旗を目指して、皆が力強く打ちます。ホールインワンが出ると、他のチームの人からも、「おめでとう」の声がかかります。短く打つ人、長すぎる人、ボールに近づける人、それぞれですが、喜びの声、残念がる声飛び交います。中でも、最高齢の西家さんの一打には力強さに正確さ加わり、皆から賞賛されています。

健康維持と談笑の場でもあります。見学だけでもどうぞ一打を打ってみませんか。入会を心よりお待ちしております。



#### 笑生会で歌いませんか

「うさぎおいしかの山：」は、故郷の一節です。ほとんどの方がメロディを想い浮かべられるのではないのでしょうか。笑生会は童謡・唱歌を主に懐かしい歌を合唱するグループです。月に二回入江先生のキーボードで毎回十曲を歌っています。曲の合間には歌った曲の思い出話に花が咲き、次の曲に進むのに先生が苦労されるくらいです。

皆が談笑することで、健康であることを喜び、ストレス解消を図るのが目的です。ここで歌うのは上手くなくてもよいのです。

現在、参加者は十三名なので、もっと多くの方に参加していただいで親睦を深められたらと願っています。

一度歌ってみようかと思われる方は、第一第三水曜日の午後二時〜四時、集会所一階で開催（参加費一回、五百円）しております。多くの方のご参加をお待ちしています。

#### 麻雀会

マジヤンクラブを紹介いたします。毎週（月曜日・金曜日）の二回午後十二時三十分から十七時まで集会所で遊んでいます。会費四百円（月）ですが、集会所使用料に充当しています。

現在会員は十名で活動中です。世間話に花を咲かせながら、つつい時間過ぎるのも忘れるほど卓を囲んでいます。知らない者同士がいつの間にか旧来の友であったかの様に距離を縮めてくれるのがマジヤンの良さ？だと思えます。神和台に新しい友を作ると共に、脳トレはいかがでしょうか？





**囲碁クラブ**

毎週、水曜日に神和台の集会所かベルデイの集会所で楽しんでます。

二〜三段の人から四〜五級の人まで『置き碁』というハンデイをつければ誰でも打てます。今、神和台七〜八名、ベルデイ四〜五名です。何百年も歴史のあるゲームで、日本、中国、韓国が強いのですが、世界で何十ヶ国にも広がっているとのこと。

私たちのレベルでは、さし当たっての一局勝つこと、地域の仲間を知ること、親しくなることかと…経験のある人も、新しく始めようと思う人も、来てみて下さい。

\* \* \*

以上月例行事とサークル活動を紹介しました。他に、一月に恵方三社詣りと春・秋の施設見学等があります。一度お尋ねください。

**連絡先** (二丁目 小林清司

792・5507 / 二丁目 谷川博基 793・4770 / 三丁目 妹尾健一 792・3903)

**生涯スポーツとしての剣道**

私の座右の銘は「継続は力なり」若い時は、走る事に夢中だった陸上競技。始めるにはやや遅い十八歳より剣道を始めた。神和台に転居してからも団地の周りをジョギングすること足腰を鍛え、ひたすら続けてきたことが今に繋がっていると思います。人生目標を持ってコツコツ頑張れば必ず良い結果が生まれる。今も信じて日々精進。近くの



昔の台小学校で名谷剣友会の指導を始め、早いもので三十二年にもなるとしてあります。当時は八十名と沢山の子供さん達がいました。『親子で仲良く、元気で賑やかに剣道を楽しんでいる集まり』しつけは大変そうでした。現在は少子化も影響、十五〜六人の少ない剣士たち。むしろ大人が三十五〜六人に膨れ上がっています。以降、新しい子供さん達が入ってくるたび靴のそろえ方、剣道着、袴のたたみ方、防具の装着と基本を定着させ今日に至っています。

基本がシッカリ出来たことで卒業する六年生のときは全員一級を取って毎年卒業しているという伝統が出るという伝統が出来る上がっています。指導の傍ら生涯現役を夢に、一九七〇年には全国青年大会、個人戦で優勝、兵庫県教育長から【ゆずりは賞】を授与、会社からもイメージアップをした事で表彰される。二〇〇八年にはねりんピック鹿兒島で団体戦先鋒

を任せられ、神戸市チームとしては久々の準優勝。二〇一二年には全国高齢者武道大会六十五歳以上の部で優勝。最近海外にも遠征、今年の七月には韓国社会人剣道大会六十歳以上の部で三位。その他、台湾、ラトビア、オーストリアと世界に向けての遠征指導。武道の世界では「守」から「破」の段階、卵の殻を破って踏み出したばかりの『ひよこ』これからの「離」の世界、この度は集大成になるかもしれないかもしれませんが、年齢的にもラストチャンス、JICAシニアボランティアに応募し合格、これから単身で三ヶ月間、来年日本で世界選手権が行われま

す。トルコのナショナルチームを取りまとめ世界選手権に向けての指導を行うことになって



います。八段審査も年二回(東京、京都)合格率0.9%の狭き門。飽くなき挑戦も二十回目。審査の着眼点にある究極の三点①理合②風格③品位が備わるよう謙虚な気持ちで基本に戻り、健康管理をしながら、生涯現役、生涯スポーツとして継続、日々研鑽して行きたいと思っているこの頃です。(二丁目 蛭子 稔)

# 健康は毎日の食 事から

先日の喜寿の同窓会では健康の話で盛り上がりました。みんな、何か病気を持ちながら、何か楽しい趣味を持っていました。

私の好きな言葉に、過去は感謝、未来に希望、そして現在が一番緊張しなくてはならない時ですと云うのがあります。この年齢になると希望が持てなくなり、遠くから孫の成長を見ているだけです。新年の抱負には日記帳に健康に気をつけること云う事ばかりです。

人間の身体は食べ物によって健康が保たれています。一日三回の食事の支度は面倒がらず、食べ方によって明日の健康が維持できると思つて、良い食べ方をしたいものです。

まず一日三十品目を食べることが大切と云われています。野菜（青菜、緑黄色、その他の野菜、芋）海藻、果物、それに主食の穀類です。これ等を上手く適量を三回の食事に摂ることが元気の秘訣です。年齢をとつても主食以外の量は若い人と余り変わりません。

今日は摂取しにくい海藻の中の、ひじきの話をします。カルシウム、食物繊維、鉄分と身体に良いものが沢山含まれていて、カロリーは少ない優れたものです。

ひじきは水でもどして、さつと茹でて冷蔵庫に入れておけば、サラダ、酢の物、白和え、卵焼き、挽肉と混ぜてハンバーグ等に、何時でも少量を食べる事が出来ます。

三十品目に近づけるために、

狭い庭に野菜を作っています。夏にはゴーヤでグリーンカーテンを毎年していました。今年には二本のゴーヤときゅうりを一本植えてみたら何ときゅうりは二m五十cm位に育ち、六十本位の収穫でした。一本百円の時に毎日とれて嬉しい日々でした。

今は春菊、小松菜、大根、かぶらの芽が育っています。間引き菜はサラダに、酢の物にと、大活躍です。

毎日朝夕、眼鏡をかけて、虫がついていないか、水が不

足していないか、野菜に聞きながら世話をします。庭は花より野菜が多くなつて来ました。

鍋帽子ってご存知ですか。

木綿の生地を使ってポリエステル綿を入れて帽子状にして鍋にかぶせます。私は使いたしてから鍋を焦がしたことがなく、嬉しいのです。

煮物は加熱時間が短く、夏はキッチンが涼しいです。

CO2の削減になり経済的です。私は炊飯器を使わず、ステンレスの鍋でご飯を炊いています。沸騰したら火を小さくして八分。それを鍋帽子に入れて十五分。ふつくらし



たご飯が出来上がります。火口が空くのでそれから、他の料理が出来て炊事の時間が短くなります。

おでん、シチュー、カレー等の煮物は温度が下がる為に味がしみるので重宝します。茹で豚、とりハム、豆料理、ブリ大根、中華おこわ等、本当に簡単に美味しいです。温かい食事がいつもスタンバイしています。鍋帽子のことをお知りになりたい方はいつでも聞いて下さい。年を重ねても手と足と頭を使って、健康な日々を送りましょう。

(二丁目 菊(おおね) 笑子)

## 神和台 情報ファイル

<b>転入</b>	加藤 恭子	二丁目
	大重 博文	一丁目
	中野 剛司	一丁目
<b>転出</b>	橋本 賢二	一丁目
<b>ご出産</b>	福本 尚央	一丁目
<b>おくやみ</b>	安達 カズエ	三丁目

## 焼き物と共に

一九八〇年に神和台に来て早三十五年が過ぎようとしています。その間、色々な出来事がありました。わが国には、世界に誇る工芸があります。その中の焼き物に携わって二〇年、歴史を尋ねる場合、やはり知るべきなのは中国の歴史だと思ひ、いつか是非行きたいと願っていた中国「景德鎮」へ数年前に行くチャンスがめぐって来ました。上海から乗り継いでたどり着いた田



舎の空港、決して綺麗とは言いがたく、街の中も人、車、人で溢れ、マナーもいまひとつでした。十年前はホテルは一軒しかなく観光ルートに入っていない今でも数軒しかありません。待望の「景德鎮窯」を尋ねました。日本のように一人の職人が全てをやるのではなく、ロクロ、絵付け、削り、釉薬掛け等其々が制作しているのを見て驚きました。完全分業体制です。なんせ人口密度が高く、すべて人海戦術でやる国です。

ある日、道路工事を見て一メートル間隔で人が立ち、トロトロやってるのも納得です。しかしさすが磁器の都、至る所に磁器の作品が無造作に置かれていました。最後の官窯の仕事は「毛沢東」だけの為の食器を国宝クラスの技術者が命を掛けて作ったそうです。千年の歴史を経た今も生産され続けています。良質の土、燃料の薪、水上運送の便、権力者の保護。皇帝だけに作られてきた焼き物。日本では九州佐賀藩の為の伊万里焼

き。薩摩藩の薩摩焼等、藩の為に最高の技術で作られた焼き物は決して民間に出ることがありませんでした。

しかし時代と共に衰退していき遂に激動の二千年代に突入し、経済不安の中にあっても、自分なりの「うつわ」を楽しみ、芸術を楽しみ、心豊かに過ごしたいものです。

焼き物に限らず、いろいろな物事の本質に触れ、その源流を尋ねおく事も必要で、それさえ見極めておけば、物事を理解する上で分かりやすく親しみがわき、見方が深くなくていくと思ひます。さて次は何処の窯場を尋ねようか。(一丁目 岸本由美子)

## 季節を感じることでできる幸せ

毎年、まだ肌寒い中、今年一番の鶯の声に「ミータン、やっとなやで。お散歩のスタートやね。」と愛猫に話しかける。元氣一杯の小鳥達のおしやべり。花は少なくなってきたけれど、忘れずに咲いてくれる配水場の桜。春に包まれる心身が軽くなる。

夜中のホトトギスは初夏の訪れ。周辺の木々もすっかり新緑に。



配水場の桜の紅葉。学園緑が丘への遊歩道の落ち葉。我が家のクリスマスマホーリーの赤い実が鳥に食べられてしまいう間に、クリスマス飾りつけを、「いつまで続けられるやら...」と思ひながら、脚立の上でフラフラしながらセツティングするイルミネーション。凜と冷えきった夜空の下、よそのお宅のやさしいクリスマス輝きを目にする。「ああ、今年も頑張っけて付けたんだな。」と嬉しくなる。

そして、夜明けと共にうるさい程の小鳥の声の後、太陽が鳴き始める。ミータンの蝉取りシーズン到来。小鳥も蝉も愛猫も、何と活動的な事!! 夏休みが終わる頃、愛猫の遊び相手は蝉からカマキリに。この二者のファイティングはなかなかの見もので、両者共プライドが高く負けず嫌い。その頃から夜の虫の大演奏会一体、何種類の虫がいるのだから?と思わずにはいられない。静かな秋!!

小束山に暮らして十六年。数年前までは、子狐や子狸をみかけたし、愛猫がモグラを持ち帰ったこともあって「わあ、正に自然と人との共存」なんて思ったものだ。これからも、季節の移いを感じることでできる地域であってほしい。それが、神和台・小束山の名(字)にぴったりのような気がする。

(小束山一丁目 熊本 啓子)

# さわやかサロン について

先輩の民生委員さんが十年前に設立され現在に至っています。

内容は、皆様の要望等でテーマを決め、雑談であったり近況報告等で親睦を深めます。また知識向上や情報交換として、「垂水名谷あんしんすこやかセンター」よりケアマネージャー、見守り推進員の方にも参加していただいています。(入所やサービスを受ける手続きの予備知識等)

又今年より少し趣を変え、区役所より補助金をいただき、映画会やコンサート等のイベントも年に数回取り入れつつあります。

いづれも同じではありませんが神和台は特に高齢者には住みづらい町になりました。月に一回でも集まって笑える場を提供していただくと模索しています。主催は民生委員ですが、どなたでも参加していただき、またボランティアとしてお手伝いしていただけたらありがたいです。

毎月一回、第三火曜日 二時～四時 集会所で開催。

今後、自治会やフレンドママ、住民の方々等の協力をえてプチ喫茶のようなものが提供出来ればと考えています。

(三丁目 河野 和子)

792・4924

(二、二丁目 長谷川つや子)

791・5034

# しんわだい文庫 & 絵本カフェ

私はかつて「しんわだい文庫」に通った子供の一人でした。土曜日がとてもしみだつたこと、陽が差し込む図書室で時間が経つのも忘れ本を読んだことを、長男が産まれ「うりぼーキッズ」で集会所に通うようになり思い出しました。閉まった図書室の前を通る度に「いい本がいっぱいあるのになあ」、また自身の子育てを通じて絵本や本の必要性を深く感じるようになり、そういった想いをいろいろな方にお話しさせて頂くうちに、ご支援もあって、この度文庫復活に向けての運びとなりました。

今月から第二・四土曜日の午後から文庫を中心にスタートします。皆さまの協力を得て本を読みながらお喋り出来る交流の場所作りも行っています。

きたいと思っております。お子さんやママさんに限らずどなたでも遊びに来て下さい。また、絵本を寄贈して下さい方、ご一緒にお手伝いして下さい方、併せてお願い致します。

(三丁目 魚住 晶子)

090・5015・5963



# コマダの珈琲

神和台の階段からバス停に降りるとき、広い駐車場と山小屋風の建物が突然現れ、これが喫茶店「コマダ」です。物見遊山に広報部の三人で出かけました。

内装は木目の板張りやレンガ造りで今よく言われる「山ガール」になった気分です。

一番のお勧めは「シロノワール」、パンの上にソフトクリームをのせシロップをかけたものです。ボリュームメニューでは「ミソカツサンド」がお勧めです。コーヒー等飲み物にはピーナッツがサービス

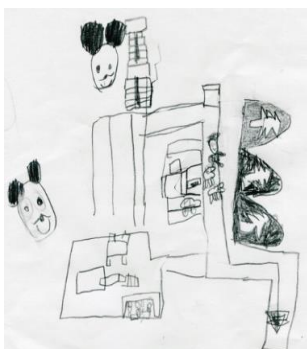
され、ちよつとお得な気分になります。東の間を楽しく過ごしました。(三丁目 長谷川 久美子)

# よーいどん

「気いつけて。行つといで。よーいドン！」訳もないのに全力疾走、ランドセルの中をカタカタ鳴らせて勢いよく学校へ行く子供、きつといつの時代も変わらない朝の風景。

神和台名物百二十六段で待ち合わせする子供達、誰に教わったのか手すりをすべり台代わりに。そう、見れば手すりはピカピカできつとこれも毎日の変わらない風景でしょう。先日の夕方前、見知らぬ子供とすれ違ふ「おかえり」と言いそびれ、にっこりすると子供から「こんにちは」と言ってくれた。ちよつと恥しくなる大人の私。

世の中の流れは変わっても、神和台の穏やかで静かな時間



は変わりませんように。私たちがこの子供達に残してやれるものは何でしょう、そしてこの子供達はどんな希望を与えてくれるでしょう。

世代を越え時が流れても、神和台を想う温かい気持ちがあるこれからも続きますように。(一丁目 長井 さおり)

# 編集を終えて

新年おめでとうございます。歳を取ることによって新年の迎え方も変わってきました。子どもの頃は只待ち遠しかった。そして子育ての忙しい気ばかり焦る時からいましみじみと穏やかな暮らしになつてきました。

ご家庭によっては、介護、ご出産、またいろいろなお事情でお忙しい方もいらっしゃる事でしようが、神和台周辺で、はや鶯の笛鳴きが聞こえる頃となりました。ゆつくり近づいてくる春の足音を楽しみましょう。

どうぞ寒さも厳しい折から、皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

なお、編集にあたり自治会総務よりご支援を頂き、感謝いたします。(広報部 河野)